

③指導者コース

※講師及び開催日は変更することがあります。

研修名	伐木技術指導者育成研修		D 1
お薦めポイント	自分と後輩は別人格です。考え方・感じ方も違います。自身の得意な点や考え方の癖を知り、後輩にどう伝えたら伝わりやすいか、放任すぎ？過保護？もチェック！後輩指導に悩んでいる方、ぜひ受講してください。		
背景と目的	森林整備や木材生産活動において、チェーンソー作業は重要な役割を果たしています。そのため、チェーンソー作業を行う現場技能者の育成とともに、それを指導する人材の育成が欠かせません。本研修では伐倒技術の向上と指導者の育成を図ります。		
到達目標	自分自身の性格・興味の傾向を把握し、コミュニケーションの注意点を学ぶ。伐倒技術と労働安全について再確認し、知識・技術を後輩等に伝える方法を学び、指導者としての実力を身につける。		
受講要件	①愛知県内で、森林・林業に携わっている者 ②研修期間中も労働災害保険の適用を受けている者 ③「伐木等の業務に係る特別教育」（労働安全衛生規則第36条第8号）修了者 ④伐木造材作業の従事経験が概ね5年以上で、現在または今後指導を予定している者		
定員	6名（最少催行人数3名）		
開催場所	愛知県森林・林業技術センター		
講師	一般社団法人林業技能教育研究所 飛田京子氏・飛田俊彦氏		
開催日	令和8年5月25日（月）～27日（水）		
内容	講義	【1日目】 (1)知識と経験の再確認 ・安全に仕事をするために必要な、法令やチェーンソー取扱についての知識をアップデートする。 ・指導に活かすため、自身のキャリアを振り返り、自己理解を深め、目標を整理する。	
	実技	【2・3日目】 (2)自身のチェーンソー操作技能をトレーニング STEP1 客観的に評価（数値等で） STEP2 観察（自身及び第三者の目で） STEP3 もう一度学ぶ 繰り返す。 (3)指導の実践 ・(2)のSTEP1～3を用いて、実際に指導する。	
教材	講師作成のテキスト		
備考	3日目のみ、受講生が所属する林業経営体の実務経験5年未満の方と一緒にご参加頂きます。		



自身のキャリアを振り返り
自己理解・目標を整理



受口、追口作成指導時の
ポイントを確認



指導実習 数値で客観的に評価し、
相手に改善点を伝える